

## [10 月度講演会]

### 「大和川付け替えと流域環境の変遷」

元大阪市下水道局職員 技術士（上下水道部門） 山野 寿男

古代より近世に至る旧大和川の洪水被害から河内の農民たちを守る為に、大和川の付け替えに生涯を捧げた中甚兵衛を通して、1659 年頃に始まった付け替え運動から 1704 年柏原市築留より堺の海へと流れを変える付け替え工事施工に着手するまでの困難な道程を、史実（資料）に基く研究を積み重ねてこられた山野先生のご講演は大変意義深いもので御座いました。以下ご講演に沿って報告いたします。

#### 1. 大阪平野の二大河川

淀川：流域面積 8,240 K m<sup>2</sup> 幹川流路延長 75.1km

大和川：流域面積 1,070 K m<sup>2</sup> 幹川流路延長 68 km

#### 2. 河内平野における近世初頭の大和川

旧大和川は、二俣で長瀬川と玉串川に分かれ、玉串川は、稲葉で菱江川に流入して森河内で長瀬川と再び合流し大和川となって京橋口へと流下していた。

#### 3. 河内平野と大和川の洪水

① 河内平野の河川：淀川本川と淀川南北の分流及び大和川

② 古代河内平野の洪水：天平宝字 6 年（760 年）続日本記

③ 近世河内平野の洪水：延宝 2 年（1674 年）の寅年洪水

#### 4. 付け替え訴願と反対運動

訴願派：8 郡 298 か村

反対派：3 郡 32 か村

#### 5. 幕府の大和川治水政策

天和 3 年（1683 年）幕府による摂河両国の水路巡見があり、河村瑞賢も同行しており其の時の瑞賢の所見によれば（畿内治河記）、九条村から新川を掘れば淀川と大和川の水はけが良くなるというものであった。

翌 1684 年安治川の開削（長 1.6km 幅 73m）、大和川下流拡幅（長 3.9km）及び京橋 30m 拡幅が 1687 年まで実施された。

元禄 12 年 6 月河村瑞賢が死亡する事によって治水政策の転換が容易になり、元禄 16 年 10 月ようやく幕府が治水政策を転換し、「川違之令」を発す。

#### 6. 中甚兵衛の功績：① 大和川付け替え活動 ② 大和川の調査データ集大成

③ 付け替え工事の施工

#### 7. 新大和川の誕生：長さ 131 町（14.3km）幅 100 間（182m）土量掘削（133 万 m<sup>3</sup> 5.5km）

盛土（121 万 m<sup>3</sup> 8.8km）普請費用（公儀普請 5.7km 37,503 両余

御手伝大名 8.8km 34,000 両余）

8. 余話：また、①新田開発 1,080 町②千両曲がり③舟運路と治水の改善 がもたらされた。